

基礎ゼミ 歴史：南京大虐殺は本当にあったのか？

～歴史把握の難しさ～ 【資料】

[担当]

1. 南京大虐殺とは？

城

日本軍が南京城を陥落させた前後、市内外で略奪・暴行を繰り返す。そのうえ、一般市民を捕虜もしくは殺害した事件。

死者：数万人～30万人

→ 資料によるばらつき

2. なぜ大虐殺は起きたのか？

- 日本の軍国主義の台頭
  - 五・一五事件以降、政党の力が弱くなり台頭してきた。

・日中戦争

1931年	満州事変
1932年	満州国建国
1933年	塘沽停戦協定

「カタン」国家？

1935年 日本、正式に国際連盟脱退

1937年	7月	盧溝橋事件	(対中国との戦争が始まる)
	8月	上海事変	
	9月	第二次国共合作	
	年末～	中国の抵抗に対応するため南京を含めた各都市を攻撃	

3. メディア～情報操作～

- メディアが戦争を起こした？

今までにあった情報操作

①国際連盟脱退

日本が設立した実質上の傀儡国であった満州国を、リットン調査書による報告に基づいて総会決議を行った結果、賛成42、反対1(日本)、棄権1(タイ)となり、満州国を否認した(2月24日)。この時の全権代表松岡洋右(後の外相)は、そのまま退席したにもかかわらず、当時の「朝日新聞」は、「連盟よさらば！遂に協力の方途尽く。総会、勸告書を採用し、我が代表堂々退場す」と報道した。

②ミッドウエー海戦

海軍の暗号が解読されていて、アメリカ側の損害が空母一隻に対して、日本国は、作戦に参加した空母四隻全てと重巡洋艦一隻を撃沈され、空母搭載飛行機285機全部を失い、多数の搭乗者を失い殆ど完敗だったにもかかわらず、当時の新聞・ラジオは、「ミッドウエー海戦で我が艦隊大勝利」と虚偽報道した。

参考資料

①退室する松岡洋右	②ミッドウエー海戦の新聞記事
	

4. まとめ

- ・南京大虐殺は本当にあった。
- ・大虐殺の理由の一つに当時の日本における軍国主義の暴走があげられる。
- ・情報を受け取る側は、与えられた情報をきちんと見極めていくべき。

画像引用元

・雑記殺 <http://www.tante2.com/>